

校長室より

令和 2年12月24日
校長 植野博之

令和2年12月も、終わりに近づいています。今年は新型コロナウイルスの影響で1年間、学校も感染対策の中で様々な制約があり、子ども達も我慢の1年間であつたかもしれません。

新型コロナは冬場を迎え、まだまだ広がりを見せる中、医療従事者や保健所の方々は、日々休まることなく限界に近い日々を送っておられます。令和3年は

1日も早く、新型コロナが落ち着いて日常にもどることを祈るばかりです。

みはま支援学校の児童生徒達は元気に過ごしております。

今日は二学期の終業式を迎え、二学期を振り返ると共に、来年へ向けて「表現」をさらに高めていこうと話をしました。二学期、子ども達は美術や音楽、書道、スポーツ、また様々な授業や行事の中で自分の感情や想いを形として残し、素晴らしい感動を与えてくれました。言葉や態度という表現によっても、人は幸せになったり、傷ついたりします。言葉や態度の表現方法をさらに高めることで互いに元気になっていきたいと思ひます。

来年は2021年、丑年です。牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、耐える 我慢する 発展の前触れの縁起のよい動物とされています。

まだまだ我慢が続くこともあるかもしれませんが、令和3年が良い年の芽生えとなるようがんばっていきましょう！



一学部病棟冬の行事！

一学部（病棟入院生）では、病棟冬の行事でクリスマス会が行われました。

大きな箱から飛び出したクリスマスプレゼントが、病棟のみんなに次々に贈られました。

クリスマスメドレーでの楽器演奏、流行のダンス、サンタさんからのプレゼント、幻想的なイルミネーションとみはまの生徒達もワクワクする1日を過ごしました。



二学部（通学生）ズームによる生徒会企画！

12月22日（火）生徒会が企画して、ズームによるゲーム大会を行いました。

①人間間違い探し ②趣味ジェスチャーゲーム、
③私はだれでしょうなど学年対抗で各クラスに分かれてズームで行いました。

生徒達は画面越しに早押しで、間違い探しやジェスチャーを当てました。

音声の切り替えやズームの仕方など生徒達もよく慣れていて、あちこちのクラスで盛り上がっていました。



防災について考える！

防災スクール【児童生徒】

12月15日（火）みはま支援学校体育館にて、美浜町役場防災企画課の担当2名の方による、小、中、高等部対象に防災スクールが行われました。

災害時に準備しておく物の講義を聞いたり、被災時の、テントやパーテーションの作り方など教えていただきました。

生徒達も友人と共同で工夫しながら作成していました。初めての経験の生徒も多く、テントが思ったより広いなという感想など出ていました。



防災に関する現職教育【教職員】

12月22日（火）には、教職員が防災に関する現職教育を行いました。

地震が発生し、津波から逃れるために和歌山病院屋上へ避難した後、保護者にどう引き継ぐか また生徒が通学途中の時間帯に被災した場合、どうするかなど6グループに分かれて協議し、リモートで報告し合いました。

様々なアイデアが出てきて、被災時のシュミレーションと課題の抽出ができました。

